

研究課題番号	1-2404
研究領域名	統合領域
研究課題名	地域を主体とするサステイナブル社会への移行方法論の構築：地域循環共生圏事業の発展的な拡大にむけて
研究代表者名（所属機関名）	赤尾健一（早稲田大学）
研究実施期間	2024年度～2026年度
研究キーワード	地域循環共生圏、地域イノベーション、環境・社会・経済の統合的向上、優良事例の横展開

## 研究概要、研究成果等

**研究概要：**本研究は、地域循環共生圏事業を担う地域コーディネーターとその中間支援組織のために、事業を継続的に進化させていくための方法論を構築することを目的とする。

**研究成果：**本研究は、3つのサブテーマで構成されている。

### サブテーマ1（課題：地域循環共生圏を取り巻く社会条件を社会科学の理論に基づいて設定する）

では、(1)地域循環共生圏事業の特徴、意義、評価視点をまとめ、具体的な評価項目を提案した。(2)地域循環共生圏構築の取組において直面する課題のうち、観光開発の是非、再エネ施設導入の是非、女性参画に関して分析と考察を行った。(3)地域循環共生圏構築と、well-beingおよび持続可能性の関係に関する仮説を提示し、実証分析のためのデータ収集を行った。

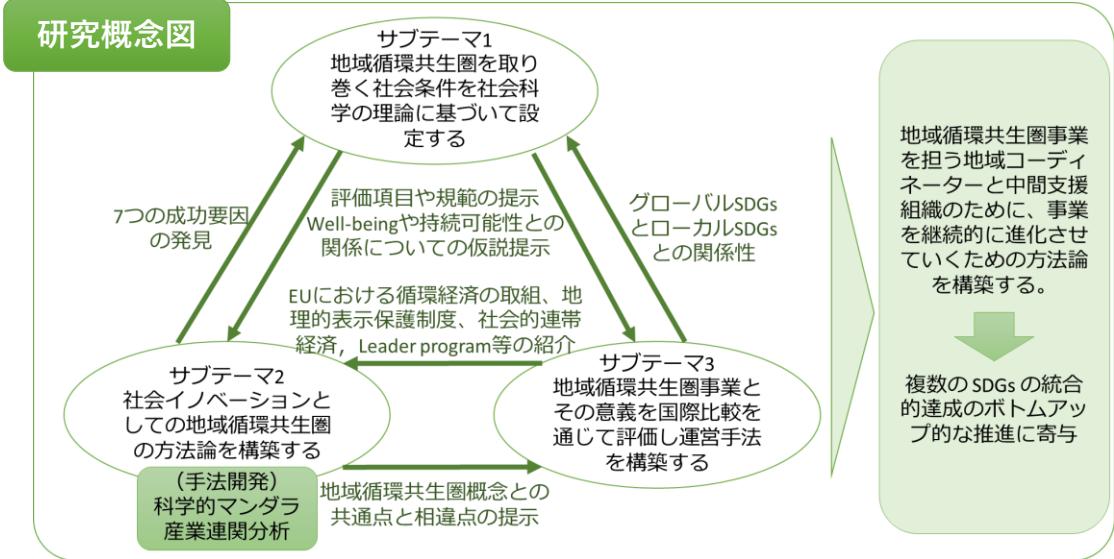
### サブテーマ2（課題：社会イノベーションとしての地域循環共生圏の方法論を構築する）

(1) 7地域調査結果を、サステイナビリティ・トランジション理論に基づいて包括的に分析することにより、地域循環共生圏の7つの成功要因をまとめた。また、結果を踏まえ地域づくりのための具体的手法について調査と分析を行った。(2) グラフ理論に基づいた関係性可視化支援プラットフォームの開発を行い、科学的にマンダラを描くための方法論を構築した。(3) 効果の定量的分析手法としてのエネルギー社会技術分析用産業連関表の開発を進行させた。

### サブテーマ3（課題：地域循環共生圏事業とその意義を国際比較を通じて評価し運営手法を構築する）

では、国内外調査に基づき(1)グローバル経済と地域の関係、フランスにおける循環経済の取組、地理的表示保護制度、社会的連帯経済の考えを明らかにした。(2) EU Leader program と地域循環共生圏の共通点と相違点を明らかにした。

## 研究概念図



## 環境政策等への貢献（の見通し）

- ・ 地域循環共生圏事業の、客観的、複眼的、学術的評価を通じて同事業の政策的意義を示す。
- ・ 同事業に携わっている地域の人々と中間支援組織に、活動を客観視し評価する観点を提示する。
- ・ 7つの地域循環共生圏事業の成功ファクターを抽出することで政策の方向性を具体的に提示した。
- ・ 科学的マンダラ、再エネを組み込んだ産業連関表などEBPMのための手法開発を行った。
- ・ EUにおける調査結果に基づき、ボトムアップの手法を活用した環境政策設計方法を提示する。